

## 第188回 東葛しぜん観察会

### 手賀沼でお散歩自然観察会

川瀬美幸（柏市）

日 時:2023年10月1日(日)9時30分～12時まで 天気:曇り

場 所:手賀沼自然ふれあい緑道周辺(北柏駅出発、柏ふるさと公園解散)

参加者:一般21名(うち子ども6人、未就学児2名含む)、指導員:10名

去年に引き続き、今年も「手賀沼自然ふれあい緑道」でお散歩スタイルの自然観察会を実施しました。多くの親子連れも参加し、特に私の班は親子連れ3組すべてがお父さんとお子さんでした。子育てにもきちんと向き合い、休日には子どもと一緒に出かけるお父さん。今の時代では当たり前なのでしょうが、私の世代から見ると「なんて素敵なお父さんなのだろう!」と感心してしまいました。子どもたちは皆マイ捕虫網に虫かごを携えて来て、虫を捕る気満々な子たちばかりでした。手賀沼周辺の地形の話、常夜燈、手賀沼のウナギ漁の話も少しマニアックかな?と思いましたが、皆真剣に聞いてくれて嬉しかったです。

地上からは見えませんが、緑道の下には直径3.2mもの導水管が2本埋設されています。その点検孔の場所にある「藤姫伝説」の石碑は蛇と裏面には昔ばなしが掘ってあります。今回は全6話のうちの3話分までの石碑を確認しました。参加者のお父さんがすすんで読み聞かせをしてくれて、子どもたちはとても真剣な表情で聞いていました。続きの石碑もぜひお散歩しながら見て欲しいです。

手賀沼自然ふれあい緑道を管理する新松戸造園の廣川さん(観察会の主担当)の提案で、今回もいろいろな工夫をしていただきました。8月から草刈りを調整し、草地ゾーンの虫取り場所を設けたことや、その中に小径をつくり歩きやすくしたこと。また、導水モニュメントの場所に秋の七草を植栽して、実際に花を楽しんでもらったり。このような工夫は日々管理をしている方々だからこそ可能であったと思います。

自然観察するうえで私たちの要望を直接伝えることができたのと、指定管理者側も生きものに優しい管理方法をあらためて考える機会にもなり、相乗効果があったと思います。実際に下見の時にも虫かごを持った親子連れを草地ゾーンで何度か見かけました。

緑道では「はなもく散歩」の導入もすすんで100箇所の樹名板(QRコード)が設置されました。アプリ開発者の中田さんが駆けつけてくださり、各班に説明や使い方を伝えましたが、未就学児でもあつという間に操作していて驚かされました。アプリの中では今の時期に見られない花の写真も掲載されているので、「また春に来てみよう!」という気になってもらえたと思います。

参加者の感想では、「普段歩いている緑道にこんなにたくさんの種類の木があることを改めて知った」「公園のような場所でもたくさんの自然があり、いろいろな発見がある。知識がある方と歩くと、どこでも自然観察会になる」など嬉しい言葉をいただきました。



「はなもく散歩」の説明を聞く



草刈り調整エリアには立て看板で周知



藤姫伝説を読み聞かせするお父さん